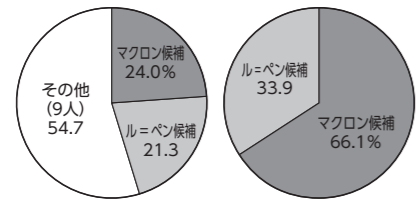


年	組	番	名前
---	---	---	----

思考実験 **さまざまな多数決の方法**

Q1 多数決では「決選投票」が行われる場合がある。2017年に行われたフランス大統領選挙を例に、なぜこのような投票制度が行われているのか考えてみよう。(→ p.44【I】)

(1) 第1回投票と第2回投票(決選投票)の結果を下の表に整理してみよう。



(2017年)(在日フランス大使館資料)

↑ 第1回投票(左)と第2回投票(決選投票)(右)の得票率

	第1回投票	第2回投票(決選投票)
マクロン候補	(24.0)%	(66.1)%
ル=ペン候補	(21.3)%	(33.9)%
両者の差	(2.7)ポイント	(32.2)ポイント

(2) 投票結果や投票制度に関する a~e の解説は、「第1回投票」「第2回投票(決選投票)」のどちらに当てはまるだろうか。()に数字を記入しよう。

- a. 幅広い候補者に対する国民の意思が示される …… 第(1)回投票
- b. 候補者を絞って比較することで国民の選択がより明確になる …… 第(2)回投票
- c. 過半数の意見が結果で示されるため、国民の納得を得やすい …… 第(2)回投票
- d. 投票を行うための手間や時間が少ない …… 第(1)回投票
- e. 複数回投票することによって冷静な判断を下しやすい …… 第(2)回投票

(3) なぜ決選投票の制度が行われているのか、考えてみよう。

(例) 決選投票は、1回だけの投票よりも手間や時間がかかるものの、候補者を絞って比較することで国民の選択がより明確になり、国民の納得も得やすいため。

↑<解説>決選投票に関し、国民の選択がより明確になる側面や、手間と時間がかかる側面など、長所と短所の両面に言及できるとよい。

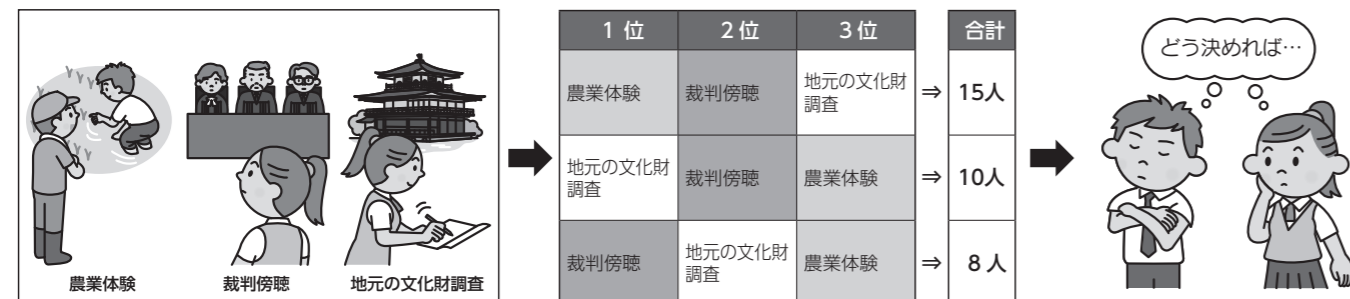
Q2 多くの人の意見を反映する方法を考えてみよう。(→ p.44【II】)

【設定】次のような状況について考えてみよう。

①校外学習の行き先を3案の中から一つ決めることになった。

②行き先の順位づけごとの人数の内訳は表のようになった。

③どのような多数決の方法で決めたらよいだろうか。



(1) 左ページ下の例について、A~Cの方法で決めるとどのような結果になるだろうか。表の空欄を埋めながら考えてみよう。

方法	A 単純多数決	B 決選投票	C 点数配分
概要	最も多くの人々が1位に選んだ行き先に決める。	1位に選んだ人が多かった行き先二つに絞り、順位づけに応じて再投票して決める。	1位に5点、2位に3点、3位に1点を配分し、投票した人数で掛け算し、多い行き先に決める。
計算の過程	◆ 1位に選んだ人数 「農業体験」 (15)人 「地元の文化財調査」 (10)人 「裁判傍聴」 (8)人	①再投票の対象になる行き先 (a 農業体験) (b 地元の文化財調査) ② a、b に対して、最初の投票での順位づけに応じて再投票した人数の合計 a…(15)人 b…(18)人	◆ 掛け算の結果 農業体験 5点×(15)人=(75) 3点×(0)人=(0) 1点×(18)人=(18) 合計(93) 裁判傍聴 5点×(8)人=(40) 3点×(25)人=(75) 1点×(0)人=(0) 合計(115) 地元の文化財調査 5点×(10)人=(50) 3点×(8)人=(24) 1点×(15)人=(15) 合計(89)
結果 (○を付ける)	(○)農業体験 ()裁判傍聴 ()地元の文化財調査	()農業体験 ()裁判傍聴 (○)地元の文化財調査	()農業体験 (○)裁判傍聴 ()地元の文化財調査
「結果」を1位にした人	15 人	10 人	8 人
「結果」を3位にした人	18 人	15 人	0 人

↑<解説>① 1位に選んだ人数が最も少ない「裁判傍聴」は除外される。
② 再投票での人数は、「a 農業体験」は上段の15人、「b 地元の文化財調査」は中段の10人と下段の8人を合計した18人となる。

(2) ①~④の観点について、最も当てはまるものから順に◎○△の三段階に分け、記号を線で囲もう。

観 点	A 単純多数決	B 決選投票	C 点数配分
①「結果」を1位にした人が多い(賛成意見が多い)	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
②「結果」を3位にした人が少ない(反対意見が少ない)	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
③投票や集計にかかる手間が少ない	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
④対象を絞って具体的に意見を確認しやすい	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △

↑<解説>上記は答えの例。③「手間」や④「確認しやすさ」については、ほかの答えも考えられる。

(3) より多くの人の意見を反映するには、あなたはどの方法がよいと考えるだろうか。A~Cやその他の方法を含めて、理由と共に考えてみよう。

私は多数決で(**(例) C 点数配分**)の方法がよいと考える。
 なぜなら(**(例) 「結果」を3位にした人が最も少ないということは、最も反対意見が少ないと考えられるため、クラス内で合意を得やすい方法**)だからである。
 ↑<解説>さまざまな答えが考えられる。上記(2)などを踏まえ、自分なりの根拠に基づいて答えられるとよい。